

2016年9月15日

国公立 私立 各大学
各学会 代表者様
各学術研究機関

公益財団法人 藤原科学財団
(The Fujihara Foundation of Science)
理事長 進藤清貴
〒104-0061 東京都中央区銀座3-7-12
Tel (03) 3561-7736 Fax (03) 3561-7860
URL <http://www.fujizai.or.jp>

第58回藤原賞 受賞候補者のご推薦依頼のこと

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、藤原賞は今回の募集で第58回を迎えます。1960年(昭和35年)に第1回の贈呈式を挙げて以来、学界の皆様をはじめ関係各方面の方々に支えられて今日に至りました。

弊財団はこれからも日本の科学の振興に少しでもお役に立てるよう「藤原賞」「藤原セミナー」を通じて努力してまいりますので、今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

ここに、第58回藤原賞受賞候補者を募集いたしますので、別紙の受賞候補者に関する推薦依頼状および推薦要項書を、関係各位にお伝えの上、

受賞候補者を 2016年12月20日(火)(必着)までに、推薦要項書を以って
ご推薦下さいます様、お願い申し上げます。

敬 具

2016年9月15日

推薦者各位

公益財団法人 藤原科学財団
(The Fujihara Foundation of Science)

理事長 進藤清貴

〒104-0061 東京都中央区銀座3-7-12

Tel (03) 3561-7736 Fax (03) 3561-7860

URL <http://www.fujizai.or.jp>

第58回藤原賞 受賞候補者ご推薦依頼

謹啓 ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

藤原科学財団は、日本の製紙王といわれた故藤原銀次郎翁が寄附された私財を基金として、1959年（昭和34年）に創設されたものであります。わが国の国籍を有し、科学技術の発展に卓越した貢献をされた方に、1960年（昭和35年）以来、藤原賞（賞状、賞牌および副賞）を贈呈してまいりました。賞は毎年2件とし、副賞として各1千万円を贈呈しております。

今回は第58回藤原賞受賞候補者を募集いたします。

つきましては、ご多忙中恐縮に存じますが、下記事項ご覧の上、賞にふさわしい候補者をご推薦下さいます様、お願い申し上げます。

第58回藤原賞選考委員は以下の通りであります。

廣川信隆（委員長）、小林 誠、小間 篤、伊賀健一、関谷剛男

十倉好紀、西原 寛、山中直明、西山 真、宮下保司

（敬称略、順不同）

敬具

記

1. 推薦の対象は、自然科学分野に属するものとします。
2. 受賞候補者は、日本の国籍があり、且つ日本在住の方であれば、ほかに賞を受けられた方でも、また以前に推薦された方でも結構です。
3. 受賞候補者には必ず所属組織・研究機関の長又は相当する学識者の推薦が必要です。
4. 受賞候補者は原則として受賞対象題目1件につき1人とします。
5. 同封の推薦要項書に、必要事項を記入してお送り下さい。なお参考資料として、受賞候補者の受賞対象題目と関係する主要論文テーマ(10篇以内)のリストおよび主要論文3篇以内の別刷(コピーでも可)を各1部ずつ、同封してお送り下さい。この資料はご返却いたしませんのでご了承願います。
6. 選考は、5つの分科(①数学・物理、②化学、③工学、④生物・農学、⑤医学)に分けて行いますので、推薦要項書1・2ページ上段の希望分科欄に推薦者が考えた希望の分科を○印で囲んでください。但し、決定は選考委員会が行います。
7. 受賞者の決定は2017年5月中旬とし、贈呈式は2017年6月16日（金）に行います。贈呈式は受賞者本人の出席を前提とします。
8. **推薦要項書提出締切日 2016年12月20日（火曜日）**
9. 推薦要項書送り先 〒104-0061 東京都中央区銀座3丁目7番12号
公益財団法人 藤原科学財団 TEL (03) 3561-7736
FAX (03) 3561-7860
10. 募集要項書は、藤原科学財団ホームページ (<http://www.fujizai.or.jp>) のPDFファイルを印刷するか又はWordファイルをご使用しても結構です。

以上

2016年12月20日(火) 必着

受付 No.		年 月 日	
希望分科	①数学・物理 ②化学 ③工学 ④生物・農学 ⑤医学	決定分科	

**第58回 藤原賞受賞候補者
推薦要項書**

推薦者

氏名 (ふりがな)	所属及び職名
(印)	
住所 〒	TEL FAX

受賞候補者

(ふりがな)	所属及び職名	
氏名		
研究題目		
住所	勤務先 〒	TEL FAX
	E-Mail	
住所	自宅 〒	TEL FAX
略歴	西暦 年(昭和 年) 月 日生	
過去に完成した 主な業績		
過去に受けた 主な賞		

「略歴」欄には受賞候補者が取得した博士号の称号と年月もご記入下さい。

藤原賞受賞者及業績一覧表

公益財団法人 藤原科学財団

回数及年	研究題目	受賞者 (敬称略)
第 1 回 1960年 (昭和35年)	ジベレリンの研究	東京大学名誉教授 農博 藪田 貞治郎 東京大学農学部部長 農博 住木 諭介 農業技術研究所 林 武 生理遺伝部長
第 2 回 1961年 (昭和36年)	可変エネルギーサイクロトロン の設計建設	東京大学原子核研究所教授 理博 熊谷 寛夫 東京大学原子核研究所助教授 理博 真田 順平 東京大学原子核研究所助教授 理博 諏訪 繁樹 東京大学原子核研究所助教授 林 巖雄 東京大学原子核研究所助教授 松田 一久 東京大学原子核研究所助教授 理博 佐治 淑夫 東京大学原子核研究所助手 西村 奎吾
第 3 回 1962年 (昭和37年)	癌の発生、成長並びに治療に関する 基礎的研究	東京大学医学部教授 医博 吉田 富三夫 佐々木研究所所長 薬博 桜井 欽夫 佐々木研究所研究員 医博 井坂 英彦 佐々木研究所研究員 医博 佐藤 博和 佐々木研究所研究員 医博 小田嶋 成和
第 4 回 1963年 (昭和38年)	光合成微生物クロレラの研究	東京大学名誉教授 理博 田宮 博 徳川生物研究所所長
第 5 回 1964年 (昭和39年)	解析的半群の理論および応用	東京大学理学部教授 理博 吉田 耕作 大阪大学理学部講師 理博 田辺 広城 東京大学理学部助教授 理博 伊藤 清三 東京大学工学部講師 理博 藤田 宏
第 6 回 1965年 (昭和40年)	有機化合物の結晶化学	関西学院大学教授 理博 仁田 勇
第 7 回 1966年 (昭和41年)	微生物による発酵生産物に関する 基礎的研究	東京大学名誉教授 農博 坂口 謹一郎
第 8 回 1967年 (昭和42年)	芳香族第三級アミンN-オキシドに 関する研究	東京大学名誉教授 薬博 落合 英二
第 9 回 1968年 (昭和43年)	構造用鋼板の脆性破壊の研究	東京大学名誉教授 工博 吉識 雅夫 東京大学工学部教授 工博 金沢 武
第 10 回 1969年 (昭和44年)	アジア、太平洋地域、特に東アジアの古期 古生界の地史学的古生物学的研究	東京大学名誉教授 理博 小林 貞一
第 11 回 1970年 (昭和45年)	物性基礎論とくに統計力学および 確率過程論に関する研究	東京大学理学部教授 理博 久保 亮五
第 12 回 1971年 (昭和46年)	抗生物質の研究、特に新領域の 開拓と有用新物質の発見	国立予研抗生物質部長 医博 梅沢 浜夫 微生物化学研究所所長 東京大学教授
第 13 回 1972年 (昭和47年)	波浪中の船の運動に関する理論的 研究	運輸省船舶技術研究所 工博 花岡 達郎 運動性能部長
第 14 回 1973年 (昭和48年)	分子構造の研究	東京大学名誉教授 理博 森野 米三 相模中央化学研究所所長
第 15 回 1974年 (昭和49年)	分子物理学および生物物理学の基礎 的研究	東京理科大学学長 理博 小谷 正雄
	網膜における情報処理機構の 研究	聖マリアンナ医科大学教授 医博 富田 恒男

回数及年	研究題目	受賞者
第 16 回 1975年 (昭和50年)	複素多様体の理論特に変形理論及び複素解析曲面論の研究	学習院大学教授 理博 小平邦彦
	Poly (ADP-ribose)の発見、その生成と分解および生物学的意義に関する研究	京都大学医学部教授 医博 早石修隆 国立がんセンター研究所長 医博 杉村隆
第 17 回 1976年 (昭和51年)	高分子物理学、特に生物レオロジーの研究	杏林大学医学部客員教授 理博 岡小天
	遷延感作の病理	千葉大学名誉教授 医博 岡林篤
第 18 回 1977年 (昭和52年)	磁性体の理論的研究	関西学院大学理学部教授 理博 永宮健夫
	天然微量有機化合物の構造研究	名古屋大学理学部教授 理博 平田義正
第 19 回 1978年 (昭和53年)	高分子合成化学、特に新重合触媒に関する研究	東京理科大学教授 工博 古川淳二 京都大学名誉教授
	高血圧および脳卒中のモデル動物の生成とその応用研究	近畿大学医学部部長 医博 岡本耕造 京都大学名誉教授
第 20 回 1979年 (昭和54年)	整数論の位相的方法による研究ならびにZ1拡大の研究	プリンストン大学教授 理博 岩澤健吉
	HVJによる細胞融合現象の発見と研究	大阪大学微生物病研究所教授 医博 岡田善雄
第 21 回 1980年 (昭和55年)	統計力学およびプラズマ物理学の研究	名古屋大学名誉教授 理博 伏見康治
	生理活性天然有機化合物の合成研究	東北大学薬学部部長 薬博 亀谷哲治
第 22 回 1981年 (昭和56年)	戸田格子の研究	横浜国立大学工学部教授 理博 戸田盛和
	小脳の運動学習の神経機構	東京大学医学部教授 医博 伊藤正男
第 23 回 1982年 (昭和57年)	土木耐震工学に関する研究	東京大学名誉教授 工博 岡本舜三 埼玉大学名誉教授
	アミノ配糖体抗生物質に関する合成的研究	慶応義塾大学名誉教授 理博 梅沢純夫
第 24 回 1983年 (昭和58年)	固体の状態変化に関する構造熱力学的研究	関西学院大学教授 理博 関集三 大阪大学名誉教授
	神経細胞の形態・生物学的研究	東京医科歯科大学教授 医博 萬年甫
第 25 回 1984年 (昭和59年)	近藤効果を中心とする金属電子論の研究	工業技術院電子技術総合研究所基礎部電子物理研究室長 理博 近藤淳
	微生物の新機能の開発に関する研究	東京大学名誉教授 農博 有馬啓
第 26 回 1985年 (昭和60年)	確率過程、特に確率解析の理論の研究	学習院大学教授 理博 伊藤清 京都大学名誉教授
	生体運動の生物物理学的研究	大阪大学基礎工学部教授 理博 大沢文夫 名古屋大学理学部教授
第 27 回 1986年 (昭和61年)	高密度磁気記録、特に垂直磁気記録方式の研究	東北大学電気通信研究所教授 工博 岩崎俊一
	細菌の細胞分裂遺伝子の研究ならびに大腸菌の突然変異バンクの創設	国立遺伝学研究所教授 理博 廣田幸敬
第 28 回 1987年 (昭和62年)	代数解析、特に無限次元グラスマン多様体によるソリトン方程式の解析	京都大学数理解析研究所教授 理博 佐藤幹夫
	有機合成化学の新手法開拓に関する研究	東京理科大学理学部教授 理博 向山光昭 東京大学名誉教授
第 29 回 1988年 (昭和63年)	高エネルギー加速器科学の開拓	高エネルギー物理学研究所所長 理博 西川哲治 東京大学名誉教授
	生理活性ガングリオシドの研究	東京大学医学部教授 理博 永井克孝 医博

回数及年	研究題目	受賞者
第 30 回 1989年 (平成元年)	船舶流体力学における自由表面流問題に関する研究	カリフォルニア大学 サンタバーバラ校教授 横浜国立大学名誉教授 工博 丸尾 孟
	有機半導体、導体および超伝導体の研究	岡崎国立共同研究機構 分子科学研究所所長 東京大学名誉教授 理博 井口 洋夫
第 31 回 1990年 (平成2年)	フォン・ノイマン環の構造解析	カリフォルニア大学 ロサンゼルス校教授 理博 竹崎 正道
	転移RNAの構造と機能及びその分子進化	国立がんセンター 研究所生物学部長 理博 西村 暹
第 32 回 1991年 (平成3年)	超強磁場の生成と物性科学への応用	大阪大学理学部教授 理博 伊達 宗行
	マイクロ波および光波エレクトロニクスの研究	東京大学 先端科学技術センター教授 工博 大越 孝敬
第 33 回 1992年 (平成4年)	リグニンの生化学・生合成と微生物分解機構の解明	日本大学農獣医学部教授 京都大学名誉教授 農博 樋口 隆昌
	細胞・組織機能の微細構造的基礎の確立	福岡大学医学部教授 東京大学名誉教授 医博 山田 英智
第 34 回 1993年 (平成5年)	日本周辺の地震活動と地下構造に対する研究	東京大学名誉教授 理博 宇津 徳治
	イオン工学技術の発展	(株)イオン工学研究所 取締役研究所所長 京都大学名誉教授 工博 高木 俊宜
第 35 回 1994年 (平成6年)	素粒子ビームによる広域科学の開拓	東京大学原子核研究所 教授・所長 理博 山崎 敏光
	励起分子錯体の化学の開拓と確立	大阪大学基礎工学部 名誉教授 理博 又賀 昇
第 36 回 1995年 (平成7年)	アーベル多様体の虚数乗法論と志村多様体の構成	プリンストン大学教授 理博 志村 五郎
	有用かつ特異生物活性を有する微生物代謝産物の発見	(社)北里研究所 理事・所長 薬博 理博 大村 智
第 37 回 1996年 (平成8年)	昆虫神経ペプチドに関する化学的・分子生物学的研究	東京大学副学長 農博 鈴木 昭憲
	サイトカインの構造と機能に関する先駆的研究	東京大学医学部教授 Ph.D. 谷口 維紹
第 38 回 1997年 (平成9年)	超新星ニュートリノの観測によるニュートリノ天文学の創始	東京大学名誉教授 Ph.D. 小柴 昌俊
	有機合成化学における新方法論と新概念の構築	米国マサチューセッツ 工科大学化学科教授 Ph.D. 正宗 悟
第 39 回 1998年 (平成10年)	有機フリーラジカルの集積・組織化による分子磁性体の構築の研究	学位授与機構教授 九州大学名誉教授 理博 岩村 秀
	フェロモンを中心とする微量生物活性天然物の合成研究	東京理科大学理学部教授 東京大学名誉教授 農博 森 謙治
第 40 回 1999年 (平成11年)	固体中のd電子状態の理論	大阪大学名誉教授 理博 金森 順次郎
	細胞骨格の分子細胞生物学、細胞の形作りと細胞内物質輸送の分子機構の研究	東京大学大学院 医学系研究科教授 医博 廣川 信隆
第 41 回 2000年 (平成12年)	半導体量子構造による電子制御と素子機能創出の研究	東京大学生産技術 研究所教授 工博 榎 裕之
	DNA塩基配列変化の迅速検出法の開発とヒトがんにおける遺伝子異常の把握	国立がんセンター研究所 客員研究員 薬博 関谷 剛男
第 42 回 2001年 (平成13年)	高エネルギー宇宙線現象の研究および宇宙観測用気球システムの研究	東京大学名誉教授 宇宙科学研究所名誉教授 理博 西村 純
	フォトンクスポリマーの基礎的研究と機能創出	慶應義塾大学 理工学部教授 工博 小池 康博
第 43 回 2002年 (平成14年)	大気および太陽ニュートリノの観測によるニュートリノ振動の発見	東京大学 宇宙線研究所教授 理博 戸塚 洋二
	高品質窒化物半導体単結晶の創製とp-n接合青色発光素子の実現	名城大学教授 名古屋大学名誉教授 工博 赤崎 勇

回数及年	研究題目	受賞者
第 44 回 2003 年 (平成 15 年)	面発光半導体レーザーの先駆的研究	日本学術振興会理事 東京工業大学名誉教授 工博 伊賀健一
	神経情報伝達と脳可塑性の分子機構に関する先駆的研究	東京大学大学院 医学系研究科教授 医博 三品昌美
第 45 回 2004 年 (平成 16 年)	高次元双有理幾何学理論の建設	京都大学数理解析 研究所教授 理博 森重文
	サイトカインの分子生物学的研究	大阪大学大学院 生命機能研究科科长 医博 平野俊夫
第 46 回 2005 年 (平成 17 年)	キラル高分子の精密合成と機能開発	名古屋大学エコトピア 科学研究所客員教授 理博 岡本佳男
	オートファジーの分子細胞生物学的研究	自然科学研究機構 基礎生物学研究所教授 理博 大隅良典
第 47 回 2006 年 (平成 18 年)	有機合成化学における革新的合成手法の開拓	科学技術振興機構 研究成果活用プラザ大阪館長 工博 村井眞二
	生物進化の機構解明	東京工業大学大学院 生命理工学研究科教授 薬博 岡田典弘
第 48 回 2007 年 (平成 19 年)	少数原子集団の構造解析とカーボンナノチューブの発見	産業技術総合研究所 ナノカーボン研究センター長 理博 飯島澄男
	量子ドット半導体レーザーの概念創出とその実現に関する先駆的研究	東京大学 ナノ量子情報エレクトロニクス研究機構長 工博 荒川泰彦
第 49 回 2008 年 (平成 20 年)	D加群の理論の構築とその応用	京都大学数理解析研究所 所長・教授 理博 柏原正樹
	多様な天然生理活性物質の全合成と創薬研究	早稲田大学理工学術院教授 工博 竜田邦明
第 50 回 2009 年 (平成 21 年)	酸化物をベースとする革新的電子機能材料の創成	東京工業大学 フロンティア研究センター教授 工博 細野秀雄
	生体エネルギー産生機構の研究	岩手医科大学 薬学部学部長・教授 薬博 二井将光
第 51 回 2010 年 (平成 22 年)	シガトキシンの全合成を中心とする生理活性天然物の総合的研究	東北大学大学院 理学研究科教授 理博 平間正博
	TGF- β ファミリーのシグナル系を機軸とした分子医学への貢献	東京大学大学院 医学系研究科教授 医博 宮園浩平
第 52 回 2011 年 (平成 23 年)	物質中の巨大な電気磁気応答の創成	東京大学大学院 工学系研究科教授 工博 十倉好紀
	「次元・階層構造」の精密設計による革新的高分子新物質の創成	東京大学大学院 工学系研究科教授 工博 相田卓三
第 53 回 2012 年 (平成 24 年)	位相的場の理論の幾何学的実現とその数学的基礎理論の構築	京都大学大学院 理学研究科教授 理博 深谷賢治
	分子性酸触媒の開発	中部大学教授 分子性触媒研究センター長 Ph.D. 山本尚
第 54 回 2013 年 (平成 25 年)	光格子時計の発明と実現による高精度原子時計技術の開発	東京大学大学院 工学系研究科教授 工博 香取秀俊
	革新的バイオイメージング技術の開発研究	理化学研究所 脳科学総合研究センター副センター長 医博 宮脇敦史
第 55 回 2014 年 (平成 26 年)	精密分子設計に基づく分子科学・技術のフロンティアの開拓	東京大学大学院 理学系研究科特例教授 理博 中村栄一
	認知記憶メカニズムの解明	東京大学大学院 医学系研究科教授 医博 宮下保司
第 56 回 2015 年 (平成 27 年)	エルビウム光ファイバ増幅器(EDFA)の先駆的研究開発と光通信の高度化に関する多大な貢献	東北大学 電気通信研究所教授 工博 中沢正隆
	転写・翻訳の構造基盤の解明と応用	理化学研究所 上席研究員 理博 横山茂之
第 57 回 2016 年 (平成 28 年)	地球深部の物質とダイナミクスの解明	東京工業大学 地球生命研究所所長・教授 理博 廣瀬敬
	膜タンパク質の構造と機能研究	名古屋大学大学院 創薬科学研究科特任教授 理博 藤吉好則

(注) 受賞者の職名は受賞当時のものであります。

公益財団法人 藤原科学財団
(The Fujihara Foundation of Science)

〒104-0061 東京都中央区銀座 3-7-12
Tel (03) 3561-7736 Fax (03) 3561-7860
URL <http://www.fujizai.or.jp>

役員・評議員

理事長	貴清	王子ホールディングス株式会社 代表取締役会長
専務理事	長谷川昇	元 日本製紙株式会社 副社長(常勤)
理事	安西祐一郎	日本学術振興会 理事長
"	関谷剛男	(公財)佐々木研究所 常務理事
"	伊賀健一	東京工業大学 名誉教授
"	廣川信隆	東京大学大学院 医学系研究科 特任教授
"	馬城文雄	日本製紙株式会社 代表取締役社長
"	矢嶋進	王子ホールディングス株式会社 代表取締役社長
監事	濱島明人	元 日本製紙株式会社 常任監査役
"	橋本浩樹	元 王子製紙株式会社 取締役
評議員	生田正治	元 株式会社商船三井 社長
"	伊藤正男	理化学研究所 脳科学総合研究センター 特別顧問
"	岩村秀秀	分子科学研究所、東京大学、九州大学 名誉教授
"	上島重二	元 三井物産株式会社 社長
"	大坪孝雄	元 王子製紙株式会社 会長
"	岡田明重	株式会社三井住友銀行 名誉顧問
"	末松安晴	東京工業大学 名誉教授
"	鈴木正一郎	元 王子製紙株式会社 社長
"	鈴木正博	元 本州コーポレーション 社長
"	中野誠久	元 王子製紙株式会社 専務取締役
"	中村雅知	日本製紙株式会社 特別顧問
"	西村村暹	筑波大学 生命科学動物資源センター 客員研究員
"	芳賀義雄	日本製紙株式会社 代表取締役会長
"	坂庄二	元 日本製紙株式会社 副社長
"	山崎敏光	東京大学 名誉教授

藤原科学財団の概要

設立： 1959年(昭和34年)5月1日
 行政庁： 内閣府
 基本財産： 19億66百万円(2016年3月末現在)
 創立者： 藤原銀次郎

公益財団法人

藤原科学財団

公益財団法人 藤原科学財団

定款(抄)

第1章 総則

(名称)

第1条 この法人は、公益財団法人藤原科学財団と称する。

(事務所)

第2条 この法人は、主たる事務所を東京都中央区に置く。

(目的)

第3条 この法人は、科学技術の振興に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の公益事業を行う。

- (1) 科学技術に関する功労者の表彰
- (2) 科学技術に関する普及・啓発・国際交流への援助
- (3) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

公益財団法人 藤原科学財団

(The Fujihara Foundation of Science)

〒104-0061 東京都中央区銀座 3-7-12

Tel (03) 3561-7736 Fax (03) 3561-7860

URL <http://www.fujizai.or.jp>

事務局長 野崎直行

藤原科学財団の運営は、日本製紙株式会社、王子ホールディングス株式会社、読売新聞社の支援を受けております。

2016年8月

設立の経緯と事業の展開

わが国の製紙王といわれた藤原銀次郎は、資源が乏しく、国土の狭い日本を、世界のトップクラスの科学技術国とすることを、終生の念願としておりました。

この実現の為に行った功績として、1938年(昭和13年)旧王子製紙株式会社の社長時代に3社合併(王子製紙、富士製紙、樺太工業)5周年を記念して、わが国の大学における科学教育充実の為、東京大学、東京工業大学、京都大学、早稲田大学他の主要大学に対して総額267万円(現在価値で約90億円)という当時としては破格の寄付を旧王子製紙株式会社として行ったのをはじめ、同年、旧王子製紙株式会社社長を退任した際、私財800万円(現在価値で約280億円)を投じて藤原工業大学(現在の慶應義塾大学理工学部)を創設したことがあげられます。

さらに、1950年(昭和34年)氏が90才の時には、将来のわが国の科学技術振興に寄与することを目的として、私財1億円を寄附して「藤原科学財団」を設立し、初代理事長に読売新聞社社主の正力松太郎氏が、選考委員長には東京大学学長の茅誠司氏が就任されました。

この藤原銀次郎の意思を実現する為、藤原科学財団では、「藤原賞」「藤原セミナー」の2つの事業を行っております。

「藤原賞」は、わが国の科学技術の発展に卓越した貢献をした科学者を顕彰し、副賞賞金を贈るというもので、1960年(昭和35年)に第1回の贈呈式を行いました。

その後、1975年(昭和50年)から、年2件 副賞 各1千万円として、2016年(平成28年)には第57回を迎え、受賞者総数117名、副賞額累計は9億円2千万円に達しています。

「藤原セミナー」は、1973年(昭和48年)に旧王子製紙株式会社創業100周年記念事業の一環として、同社から分かれた王子製紙株式会社(現王子ホールディングス株式会社)、十條製紙株式会社(現日本製紙株式会社)など16社から、5億円の寄付を受け、1974年(昭和49年)から毎年国際セミナーの開催を援助することとしてスタートしました。

2016年(平成28年)迄に71回の藤原セミナーを援助し、援助額累計は6億5千万円になっています。

現在は開催援助件数を年間2件以内、開催援助額総額年間24百万円以内(1件12百万円以内)で募集しており、更に募集するセミナーの開催対象期間を1年間延長して2年間とし、応募者がセミナーの企画をしやすい様に等、一層の充実を図っております。

現在わが国がおかれております厳しい社会・経済環境を

考えますと、科学技術の発展はますます重要になってきます。戦前の旧王子製紙を引き継いだ、現在の日本製紙株式会社と王子ホールディングス株式会社から財政的支援を、読売新聞社から広報面での支援を受けて、藤原銀次郎翁の財団設立の精神に基づき運営を続けてまいります。

事業の概要

1. 藤原賞

〈趣旨〉 科学技術の発展に卓越した貢献をした日本国籍を持つ功労者に記念賞として藤原賞を贈り表彰する。

- (1) 受賞対象 自然科学分野に属する基礎科学及び応用科学
- (2) 賞の内容 年2件 賞状、賞牌(金メダル)、副賞(各1千万円)
- (3) 推薦依頼先 国立・公立・私立大学、関係学会・協会・研究機関および識者
- (4) 推薦依頼書発送 毎年9月15日
- (5) 推薦受付期間 毎年10月1日～12月20日
- (6) 選考方法 5分科(数学・物理、化学、工学、生物・農学、医学)に分類し、選考委員(別掲10名)と分科会委員(約15名)により、選考する。
- (7) 受賞者の決定 5月中旬
- (8) 贈呈式 6月17日(藤原銀次郎の誕生日) 休日の場合は前日

2. 藤原セミナー

〈趣旨〉 わが国の研究者が計画、主催する学問的に水準の高い国際セミナーの開催に必要な経費を援助する。

- (1) 対象分野 自然科学の全分野
- (2) 応募資格 わが国の大学等学術研究機関に所属する常勤の研究者
- (3) 開催件数 毎年2件以内
- (4) 開催費用援助額 1件12百万円以内 (合計24百万円以内)
- (5) セミナーの要件
 - ① テーマ なるべく基礎的なもので、関連分野の発展に寄与するもの

但し、二国間会議、定期的に行われる

- ② 参加者 50～100人程度とし、外国人研究者が1/5程度参加すること
- ③ 開催対象期間 募集翌年の1月1日～翌々年12月31日
- ④ 開催地 開催は日本国内とし、期間は2～4日間とする
- ⑤ その他 参加者は原則として期間中起居を共にし、自由な雰囲気の中で学問的な交流と、人間的接触を深めること
- (6) 応募書類発送 毎年4月1日
- (7) 応募受付期間 毎年4月1日～7月31日
- (8) 選考方法 藤原セミナー委員会(藤原賞選考委員のうち委員長および常任委員が兼務)で選考する
- (9) 開催者決定 10月中旬

藤原賞選考委員

委員長	廣川 信隆	東京大学大学院 医学系研究科 特任教授
常任委員	小林 誠	高エネルギー加速器研究機構 特別栄誉教授
〃	小間 篤	秋田県立大学 理事長・学長
〃	伊賀 健一	東京工業大学 名誉教授
〃	関谷 剛男	(公財)佐々木研究所 常務理事
分科主査委員	十倉 好紀	理化学研究所 創発物性科学研究センター長
〃	西原 寛	東京大学大学院 理学系研究科 教授
〃	山中 直明	慶應義塾大学 理工学部 情報工学科 教授
〃	西山 真	東京大学 生物生産工学研究センター 教授
〃	宮下 保司	東京大学大学院 医学系研究科 教授